



日本歯科色彩学会
http://www.jacd-dc.jp

日本歯科色彩学会 ニュースレター

NO.65

日本歯科色彩学会事務局
日本歯科大学 新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座 内
〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8 発行日/令和2年3月20日
発行人/新海航一 TEL/090-211-8171 MAIL/jacd@ngt.ndu.ac.jp

会員のメールアドレスを学会事務局宛へお知らせ下さい

令和元年度日本歯科色彩学会表彰選考委員会報告

表彰選考委員会 委員長 平山聡司
(日本大学松戸歯学部 保存修復学講座)

日本歯科色彩学会の学会誌「歯科の色彩」25巻に掲載された論文と第26回学術大会におけるポスター発表について表彰選考委員会で検討いたしましたところ、以下の論文と発表が令和元年度日本歯科色彩学会賞および奨励賞に決定いたしました。

なお、受賞者には7月28日に行われた第27回日本歯科色彩学会総会・学術大会において新海会長から賞状が贈られました。

<論文>

【学会賞】

論文名：日本人大学生が自己の歯冠色に対して抱く心的イメージと生活習慣との関係

著者：片山一郎

【奨励賞】

該当なし

<発表>

【学会賞】

演題名：ファイバー径がグラスファイバー強化型 審美矯正用ワイヤーの色調安定性に及ぼす影響

筆頭著者：谷本安浩

【奨励賞】

演題名：着色したCAD/CAMブロックの歯ブラシ磨耗による色調変化

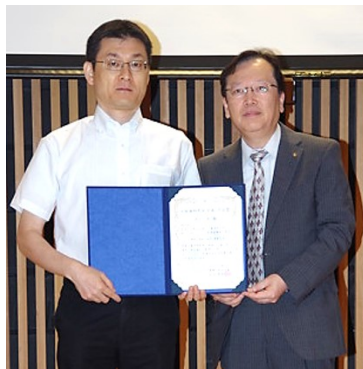
筆頭発表者：山本宥佑

演題名：褐色鶏卵卵殻によるリン酸化合物含有歯磨剤と洗口剤の漂白効果の評価

筆頭発表者：大塚一聖

第26回学術大会におけるポスター発表は、第25回学術大会よりも1演題多い8演題でした。そのうち学会賞には4演題、奨励賞には3演題のノミネートがありレベルの高い選考となりました。なお、発表奨励賞の評価結果において上記2演題が同評価となり、お二人の先生に奨励賞を贈ることとなりました。

今後とも会員皆様から多くの論文投稿と学会発表をお待ちしています。



論文学会賞受賞の
片山一郎先生



発表学会賞受賞の
谷本安浩先生

第 28 回日本歯科色彩学会・学術大会のご案内

大会長 金子 潤
(千葉県立保健医療大学 健康科学部 歯科衛生学科)

第 28 回日本歯科色彩学会総会・学術大会を 2020 年 6 月 27 日（土）、28 日（日）の 2 日間にわたり、千葉県市川市の「山崎製パン企業年金基金会館」にて開催させていただくことになりました。例年であれば、総会・学術大会は 7 月下旬に開催しているところですが、本年は 2020 東京オリンピック・パラリンピック年度ということで、交通・宿泊などへの影響を可及的に回避すべく 1 か月前倒ししての開催日程といたしました。ご参加いただく皆様にとって実りある学術大会になるよう鋭意準備を進めております。

歯の審美性は「形態美」「機能美」「色彩美」が揃ってこそ達成されるもので、審美歯科治療においてはどの美的要素も欠かすことができません。なかでも「色彩」に関しては、歯科医学教育のなかで詳しく学ぶ機会も少なく、卒業後の臨床経験などに頼らざるを得ない場合が多いのではないのでしょうか。どんなに「機能」的で自然な「形態」を有する修復物や補綴装置でも、やはり最終的な「色彩」がマッチしていなければ、確実に不満の残る結果となります。また、歯の「色彩美」を創造し維持させるためには、歯科技工士・歯科衛生士などコ・デンタルスタッフの力はなくてはならないものです。歯科医師の的確な色彩判定と正確な情報伝達はもちろんですが、歯科技工士の巧みな色彩再現と歯科衛生士の適切なメンテナンスにより、治療の質と予後が大きく左右されることは言うまでもありません。そこで、今回の学術大会のテーマは「チーム歯科医療が支える口元の色彩美」といたしました。歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の歯科医療従事者はもちろんのこと、研究・教育関係者や学生の皆さんなど幅広い参加者が一堂に集い、活発な議論が行われることを期待しております。

本大会は前回の川越大会を踏襲して、1 日目（6 月 27 日、土曜日）の午後から常任理事会、理事・評議員会および会員懇親会を開催し、2 日目（6 月 28 日、

日曜日）の午前中に総会、会員発表および特別講演、午後から講習会 1 および 2 を開催するプログラムとなっております。

今大会の特別講演は、「審美補綴装置の色調再現性を高めるために」と題して明海大学歯学部機能保存回復学講座歯科補綴学分野の三浦賞子先生にお願いいたしました。近年では保険適用の CAD/CAM 冠から高透光性モノリシックジルコニアに至るまで、色彩選択と情報伝達が重要な鍵を握る場面が以前よりも多くなっています。先生には明日からの臨床に役立つ内容を整理してご提示いただく予定です。

講習会 1 では、「歯科領域で色彩を応用する環境についての考察あるいは提案」と題してカラーランド・Lab の元呑昭夫先生にご講演いただきます。先生は当学会の創設当初より中心的メンバーとして長年にわたりご活躍され、昨年度から名誉会員とられました。歯科領域における色彩について、色彩学の専門的立場からの貴重なご意見を拝聴できるものと思います。

講習会 2 では、「最新 2D、3D 撮影装置を用いた皮膚表面、顔貌評価のご紹介」をテーマに株式会社インテグラルの永岡庸平先生よりご講演いただきます。最先端の皮膚計測機器について、デモンストラーションを含めてお話しいただく予定です。

開催地の千葉県市川市は、すぐ横の江戸川を渡ればもう都内という利便性の高い地域です。また、会場の「山崎製パン企業年金基金会館」も JR 総武線市川駅から徒歩 2 分の好立地にあり、参加される皆様も大変足を運びやすいと思います。現在、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されますが、大会までに何とか事態が収束して、一時の有意義な学術交流と親睦が図れるよう願っております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2019 年度日本歯科色彩学会見学会中止のお知らせ

見学会委員会 委員長 中澤 章
(東京都・中澤歯科クリニック)

3月1日(日)に開催予定のヨシダ見学会が、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止になりました。委員会では、2月はじめより開催、延期、中止すべてを考慮して準備を進めてまいりました。中旬には懇親会の中止を決定し、参加の方々にはマスク着用、手指消毒を徹底して見学会のみの開催も可能かどうか、厚生労働省の発表、他学会の動向などに注視し検討してきましたが、新海航一会長、執行部の先生と協議した結果、年度末のため延期も困難であり、今年度の開催中止を決定させていただきました。すでにお申込みの方々には個別にお知らせをさせていただいております。何卒ご理解いただきますようお願い申し

上げます。

今回は、吉田製作所の最新機器開発状況の紹介、とくに最近注目を浴びている OCT (光 CT) についての解説と、ヨシダサポートセンターでの CAD/CAM 技工の取り組みについて、デモを含めてご紹介いただく予定でした。大変興味ある内容ですので、来年度以降、機会があれば新たにご案内させていただく所存です。ご準備いただいた株式会社ヨシダの方々、仲介の労をとっていただいた高橋英和先生、学会事務局の鈴木雅也先生、ポスター制作の木暮ミカ先生に厚く御礼申し上げます。

学会事務局よりお知らせ

幹事 鈴木雅也
(日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座)

学会事務局の運営を引継いでから1年が経過いたします。至らない点多々あるかと存じますが、学会発展のため微力ながら尽力させて頂く所存でございますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。知人の方で「歯科色彩学」に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ本学会をご紹介いただけますと幸いです。入会申込書

はホームページからダウンロードできますのでご利用下さい。

住所やメールアドレスの変更、入会・退会につきましては学会メールアドレス(jacd@ngt.ndu.ac.jp)にお知らせ下さい。また、何かご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせ下さい

【編集後記】

本学会の主要な事業である3月1日の見学会は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮して中止となりました。編集後記を執筆している現在(3月15日)でも、テレビ報道は、連日、新型コロナウイルス関連のニュースばかりで一向に収束の目途が立っていません。

テレビの画面に新型コロナウイルスの映像が映

し出されると、本学会初代会長の故橋口緯徳先生が寄稿された論文「色への道」を思い出します。論文の中で橋口先生が「細菌の作るコロニーの美しさに魅せられたのが、色彩学への導入でした。」とあります。歯科技工士である私は、歯科色彩学会といえど歯や歯肉の色を研究する学会と想像していたところ、細菌コロニーの色彩まで研究対象とされている

広範さに驚いたことを覚えています。

多様な歯科色彩の研究成果を発表する場である
第 28 回学術大会は、大会長である金子 潤先生の
もと、千葉県市川市において 6 月 27 日、28 日に開

催されます。学術大会までには新型コロナウイルス
による感染が収束し、多くの皆様が集い、活気あふ
れる会となることを願っております。

(中山友克)



日本歯科色彩学会ニューズレター編集委員会 金子 潤、中山友克、小澤有美